

特集 学生の研究活動報告－国内学会大会・国際会議参加記 27

グローバル人材育成プログラム に参加して

松山 莉央
Rio MATSUYAMA
数理情報学科 3年

1. はじめに

私は、2017年8月17日から9月4日までアメリカのサンフランシスコ（図1）に行ってきました。そして、8月21日～9月1日の2週間、San JoseのEnglish Communication Service LLCで研修させていただきました。



図1 ゴールデン・ゲート・ブリッジ

2. シリコンバレー企業視察

8月18日に企業視察を行いました。企業視察では、oracle社（図2）・Autodesk・Google・Intelにそれぞれ見学しました。特に、Googleサンフランシスコオフィスでは、社員の方と社内を案内のもと、特別に見学させていただきました。Googleでは、エンジニアはあまり行動せず、各自の小部屋で引きこもりになりやすいため、50メートルおきにキッチンが設置してあり、無料のカフェテリアとランチがあり、社員の方の息抜きのために、無料のゲームコーナーが設けられていました。カフェテリアなどで、様々な国籍の方たちとコミュニケーションを行っていました。こうしたリラックスできる環境を会

社が提供しているため、素晴らしい発想が生まれ、社に貢献していた素晴らしい会社でした。同じ職場に様々な国籍の方と仕事をしているGoogleでは、グローバルな人材が必要とする会社でした。



図2 oracle社

3. 講演会

8月19日にサンフランシスコで海外勤務されている山田様・黒田様・北村様のご自身の会社の話と日本の学生に対するアドバイスをいただきました。その後、小グループに分かれて、私たち、日本の学生の質問や相談に乗ってもらいました。山田様は、とても社員の方々が働きやすく、日本の一般的なワークスタイルとは全く違ったワークスタイルで会社を良くしようと心がけているので、チームワークの大切さやチームメートの信頼関係の大切さを教えてもらいました。チームワークとは、適度な距離感が大事であり、自分の強みの役割をし、自分が弱みであるところは、チームメートに分担をするということが大切だということを語ってくださいました。このお話で、私は日本のチームワークは、チームワークとはいえ、就職したときに、日本のチームワークを変えていけたら良いなと思いました。黒田様は、日本とアメリカのイノベーションの違いや、意見を言う時には、コミュニケーションの方法が大切だということを教えてくださいました。北村様は、アメリカの学生が就職や大学院という選択肢ではなく、起業をするという学生が増えていて、起業をす

るというだけで、起業をしたという経験が大事であるということを教えてくださいました。それぞれの方が人生の大きな一歩を踏み出していて、日本でもどこでも失敗を恐れずに、一歩を踏み出すことが大切だということをおぼることが出来ました。また、日本とアメリカの社会文化の違いをこの講演会で学びました。そして、この講演会に参加する前は、自分の将来のビジョンが見えてなかったが、私の相談に真剣に答えてくださったおかげで、自分の将来のビジョンが見え、今、私が何をすればいいかが分かりました。

4. 実習

4.1 実習概要

実習先企業は、English Communication Service という英会話教室にお世話になりました。そこは、代表者が日本人の方でスタッフの方も日本人でした。講師の方は、ほとんどアメリカ人の方でした。このお世話になった英会話教室では、シリコンバレーで日本からIT企業をするために来られた日本人のビジネスマンや、日本の会社でシリコンバレーに転勤されたビジネスマンや、シリコンバレーで働いているビジネスマンと結婚した奥さまや、シリコンバレーに引っ越してきた子供たちが、英語に困らないために通われていました。

4.2 実習内容

主に、マーケティングの仕事や広告作り、スタッフの方に頼まれた事務作業を任されました。勤務時間は、10時から16時で、12時30分から13時30分は休憩という勤務体制でした。奥さまやビジネスマン、子供たちのためのレッスンとはまた違う特別なクラスを考えるというマーケティングの仕事や、

English Communication Service の15周年記念パーティーの案内メールの作成といった広告作りを任せてもらい、初めてマーケティングや広告作りをして、企画を考える大変さを学びました。また、レッスンを受けさせてもらい、日本の英会話教室とはまた違い、ここのレッスンは、レッスンの内容が決まっておらず、その日に決めるといったレッスンの仕方、講師によって変わるやり方をされていました。

4.3 実習を終えて

実習を通して、日本と海外の企業の働き方の違いを発見しました。それは、上司などの目上の方に、自分の意見をはっきりと伝えることです。お世話になった企業の方に、「どんな意見でも良いので、どんどん自分から意見を言ってください」と提案されました。このことから、上司にも自分の意見をはっきりと言える良い環境だと学びました。

5. おわりに

私は今回、グローバル人材育成プログラムに参加して、貴重な経験と学びができました。英語のコミュニケーションという環境だけでなく、ホストファミリーの方々の考え方や文化の違いから、最初の1週間は、大変な思いや驚き、発見をしました。しかし、この経験があったからこそ、より深く考え方や文化の違いを学びました。そして、自分が持っているものや足りないものを再発見できる素晴らしい2週間でした。今回のこのプログラムに参加して、得たものは大きく、この得たものをこれからの学習、将来に大いに役立つと確信しています。2週間引き受けてくださった企業様や、企画していただいた大学の関係者の方々に強く感謝しています。本当にありがとうございました。